

『生徒がピア・サポートを大切に作る学校づくり』

藤枝市立葉梨中学校

1 ピア・サポート活動年間プログラム

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	『出会いと仲間づくり』 ・ 2年生による1年生への体育指導 ・ 3年生による1年生への校歌指導 ・ ピア・サポート集会 「仲間づくり」 ・ 校内一斉エンカウンター	・ 2年生が体育の授業で行う準備体操について、後輩への関わり方を考えながら指導する。3年生のリーダーが、帰りの会の歌練習のやり方について指導する ・ 生徒会が、葉梨中のピア・サポートについて説明する	年度始め職員会議 ・ ピア・サポート活動について共通理解 ・ 生徒理解研修 学習環境のUD化の推進
5月	・ 団パワ活動 結団式	・ 縦割集団が決まり、団の団結を高めるために3年生が企画し、団ごとの目標を検討し、設定する	・ 授業研究会で個への指導の在り方を考える。
6月	『挑戦、高め合い』 ・ 団パワ活動 授業評価オールA、配膳10分以内等、 縦割り集団で団結して取り組む	・ 3年生が体育大会に向けて、先輩・後輩への関わり方を意識させる ・ 仲間の良いところ、自分の良いところを見つけ、認め合う あたたかい雰囲気作り	
7月	・ 歌おう集会		
8月	『団結・絆』 ・ 体育大会 メッセージカード作り 色ごとの応援練習、種目練習、対抗戦	・ 行事を通して発見した仲間の良さや仲間への感謝の気持ちを伝えることで、仲間の頑張りを認め合う	ピア・サポート活動に関する掲示で視覚的に成果を確認する
9月			
10月	・ 文化発表会 団別合唱交歓会		
11月	『学習充実』 ・ 小学校への読み聞かせ ・ 学校保健委員会	・ 人との関わり方について技術を高める ・ ピア・サポートを広める。 ・ 命の尊さについて学び、相手を大切に作る心を育む。	
12月			
1月	『夢に向かってステップアップ』 ・ 3年生を送る会 ・ ファイナルコンサート	・ 後輩から先輩に感謝の気持ちを伝える。	
2月			
3月			

2 本校のピア・サポート活動の紹介

・ピア・サポート集会〈提言6〉

4月、新年度が始まって2週目に生徒会本部の企画・運営のもと、出会いと仲間づくりを目的に20分程度の全校集会の形式で実施した。導入で本部役員から本校のピア・サポートについての説明があり、伝統として根づき始めている学校行事を軸とした異学年集団活動を柱としたピア・サポート活動について、新入生にも理解してもらえるようにわかりやすく説明をした。

後半には異学年の小集団を意図的に組み、お互いを紹介し合う目的のエンカウンターを行い、良好な人間関係のきっかけづくりを図った。

入学して間もなく不安でいっぱいの1年生にとっては、生徒主導で行われたピア・サポート集会と同時期に行った新入生歓迎会によって、不安や緊張が小さくなり中学校生活に安心感と期待を持つことができ、上級生にとっても先輩としての自覚が芽生え、両者にとって非常にプラスとなった。



【ピア・サポート集会の様子】

・学級活動における構成的エンカウンター 〈提言5〉

各学年、学級活動の時間を使い構成的エンカウンターを実施した。1年生では小集団で同じ思いになって話し合うことの大切さ、班長が班員をまとめ同じ歩調で取り組むことの効果を学習するために、『新聞紙タワーをつくらう』を行った。(本時では、新聞紙の代わりにA4再利用紙を使用。ルールは、はさみやのりなどを使わない。用紙をちぎったり、折ったり、重ねたりすることは可。用紙を積み上げたタワーの高さを学年28班で競った。)



【学年エンカウンターの様子】

1時間の中でタワーづくりを2回行い、1回目は班で話し合わずに班員それぞれの思いで作り、2回目は作る前に班で話し合い、班員の取り組む方向性を統一させてから作り始めた。

班で話し合うことで、協力性が生まれ、どの班も1回目よりも高く用紙を積み上げることができた。また、仲間割れがなくなり、歓声があがる班も見られた。

授業の目標にどの生徒もせまることができ、授業後の学校生活に活かした活動となった。

・異学年集団活動〈提言4〉

1学期の団の色決め、結団式、団パワ活動、そして2学期の体育大会、文化発表会まで異学年集団を形成し、学校行事を先輩学年が後輩たちをピア・サポートの精神を尊重して引っ張っていき、集団としての成長や自尊心を高めている。

本校では異学年集団活動が“憧れの連鎖”という言葉として残るほど伝統となって根づ

いており、体育大会では各団の練習で練られてきた感動的な応援合戦や、競技に対して気持ちをひとつに熱く取り組む姿が見られるが、その背景には団という集団の基盤をきちんと作りあげる1学期の活動がある。

生活面の目標を団で掲げ、1～3年のそれぞれの学級で目標達成に向けて活動している。団パワ活動や歌おう集会にむけて団の上級生が下級生に行う合唱指導、それぞれの活動がPDC Aサイクルの元に成り立っており、上級生は振り返りをして、その反省点を次の活動に生かしている。集団を引っ張る上級生の姿が磨かれてき、それが2学期の体育大会の団活動にプラスに作用するのである。

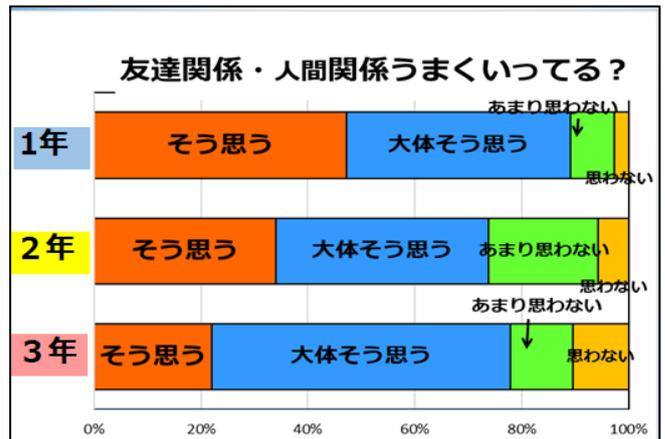
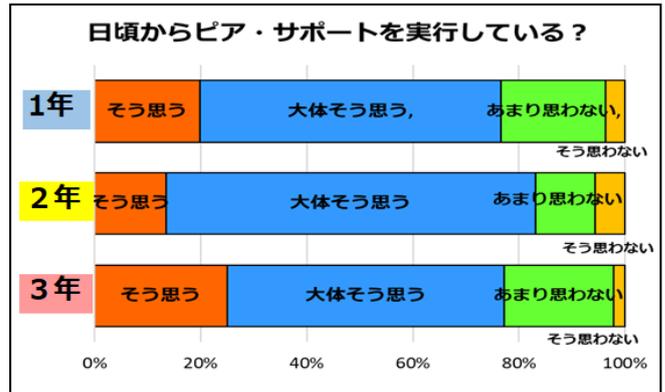
また、行事のあとには団の学級間でメッセージカードを交換することが伝統になっており、先輩や、後輩からの言葉を読んで、成就感や達成感、自己肯定感をもつようになる。職員室前には子どものすばらしい表情や活動の成果を称える掲示物がそろい、生徒たちが嬉しそうにそれらを眺める姿が見られる。



【1学期の団活動の様子】

・学校保健委員会〈提言6〉

「かけがえのない命、自分も仲間も大切にしよう」をテーマに保健専門委員会からピア・サポートに関するアンケート結果の分析やピア・サポート推進のための提案、また、産まれてくる命を尊さについて静岡県立こども病院の助産師さんを招いての講演と2部構成にして行われた。生徒の提案、助産師さんの講演ともに生徒たちは真剣に聞き入れ、



【学校保健委員会の資料より】

自分の命を大切にしていこう、自分を産み、大事に育ててくれ、いつも支えてくれている家族に感謝しよう、相手の立場になり、思いやりの気持ちをもって友だちに関わっていこう、夢や目標をもって生活していこうといった思いをもつことができた。

3 本年度の成果と課題 来年度にむけて

本校ではピア・サポートを特別活動の柱として位置づけている。学校行事や学級活動の中で良好な仲間づくりをする過程にピア・サポートを価値付けており、今年度も葉梨中の伝統となっている“憧れの連鎖”を起こすことができた。

しかし、学級や学年間における身近な仲間との横のつながりに視点をあてると、友人関係を広げられなかったり、友人とトラブルを起こし孤立してしまったり、悩みを抱えている生徒は少なくない。

来年度は生徒同士の横のつながりを強くするために、人間関係を客観的に計る「アセス」の全校実施や、ピア・サポートリーダーの育成に努めていきたい。